



岐阜県鉱工業指数 (平成20年11月分)

生産指数 前月比13.9%の低下

1 概況

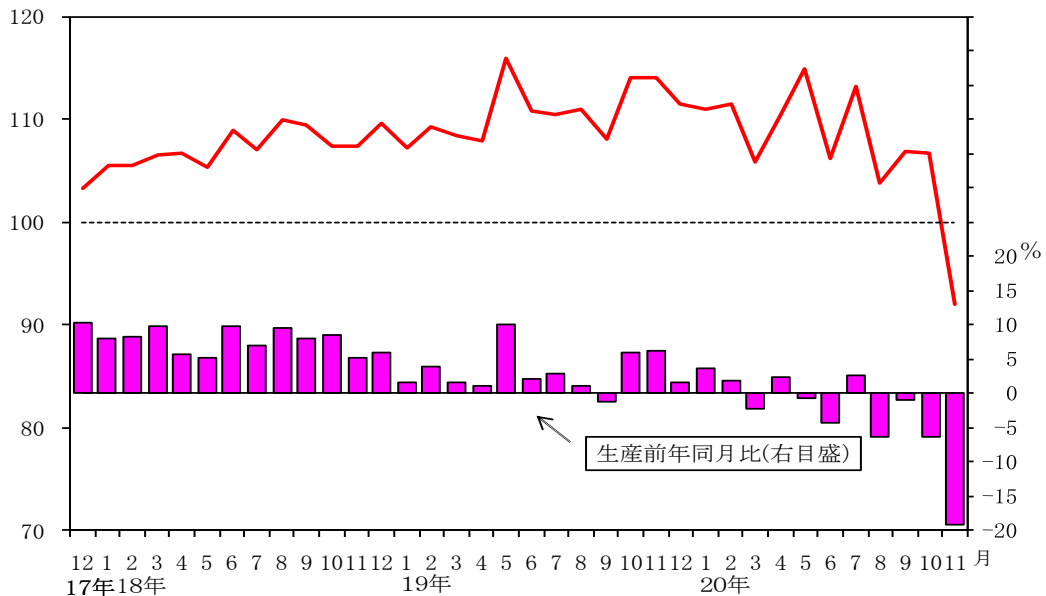
平成20年11月の県内鉱工業の動向を季節調整済指数でみると、精密機械工業、木材・木製品工業等が上昇したものの、輸送機械工業、電子部品・デバイス工業等が低下したため、前月に比べ生産指数は13.9%減と前月に引き続き低下した。また、出荷指数も15.2%減と前月に引き続き低下し、在庫指数は3.3%増と3カ月ぶりに上昇した。

なお、原指数で前年同月比をみると、生産指数は19.3%減となり、4カ月連続で前年を下回った。

(平成17年=100)

区分	季節調整済指数		原指数	
		前月比(%)		前年同月比(%)
生産	92.0	△ 13.9	96.3	△ 19.3
出荷	91.8	△ 15.2	97.4	△ 19.3
在庫	103.2	3.3	109.5	△ 0.5

鉱工業指数(生産)推移 (平成17年=100)



注: 指数値は季節調整済、前年同月比は原指数による

季節調整済指数・季節的、社会制度による1年を周期として繰り返される変動を取り除いて指数化したもの。

原指数・調査によって得られた数値をそのまま指数化したもの。

2 主要業種の動向

主要業種別に季節調整済指数を前月と比べると、金属製品工業の生産は、軽金属板製品（産業用品）、鉄管継手等が増加したものの、ボルト・ナット、アルミサッシ等が減少したため、10.7%減と前月に引き続き低下した。また、出荷も11.8%減と前月に引き続き低下し、在庫は横ばいだった。

機械工業の生産は、金型、はん用ディーゼル機関（100PS以上500PS未満）が増加したものの、電子回路基板、乗用車ボデー等が減少したため、19.6%減と3カ月ぶりに低下した。また、出荷は20.9%減と前月に引き続き低下し、在庫は0.7%減と低下に転じた。

窯業・土石製品工業の生産は、触媒担体・セラミックフィルタ、構造物材（対摩耗・対食材）等が増加したものの、生コンクリート、研削砥石等が減少したため、6.1%減と前月に引き続き低下した。また、出荷は9.8%減と3カ月ぶりに低下し、在庫は1.0%減と3カ月連続で減少した。

化学工業の生産は、不飽和ポリエステル樹脂が横ばいであったものの、医薬品、メラミン樹脂等が減少したため、5.4%減と3カ月ぶりに低下した。また、出荷も8.9%減と3カ月ぶりに低下し、在庫は5.4%増と上昇に転じた。

プラスチック製品工業の生産は、プラスチック製シート、発泡プラスチック製品等が増加したものの、プラスチック製機械器具部品、ホース（プラスチック製）等が減少したため、7.7%減と3カ月連続で低下した。また、出荷も6.7%減と低下に転じ、在庫は0.9%増と前月に引き続き増加した。

主要業種別動向

(季節調整済、平成17年=100)

区 分	生 産			出 荷			在 庫		
	指 数	前 月 比(%)	前年同月比(%)	指 数	前 月 比(%)	前年同月比(%)	指 数	前 月 比(%)	前年同月比(%)
金属製品工業	95.0	△ 10.7	△ 10.7	91.8	△ 11.8	△ 13.0	82.6	0.0	△ 11.6
機械工業	98.0	△ 19.6	△ 25.9	96.8	△ 20.9	△ 23.1	143.9	△ 0.7	13.7
一般機械工業	90.5	△ 12.7	△ 30.3	95.9	△ 16.9	△ 28.5	-	-	-
情報通信工業	129.4	△ 28.7	△ 41.6	102.7	△ 24.6	△ 18.9	-	-	-
輸送機械工業	110.9	△ 22.1	△ 6.1	103.6	△ 21.6	△ 10.9	-	-	-
窯業・土石製品工業	76.4	△ 6.1	△ 23.9	76.0	△ 9.8	△ 25.9	112.4	△ 1.0	7.6
化学工業	103.8	△ 5.4	△ 1.5	100.9	△ 8.9	△ 5.5	38.8	5.4	△ 64.5
プラスチック製品工業	95.4	△ 7.7	△ 10.7	102.1	△ 6.7	△ 10.5	97.9	0.9	△ 4.6

前年同月比は原指数による

主要業種別鉱工業生産指数 (季節調整済、平成17年=100)

